

性暴力被害に支援の手

東京都 SWがネット広告活用

性暴力被害者に支援の手を伸ばそうとこのほどソーシャルワーカー(SW)らが「サイレント・ティアー」という事業を都内で始めた。NPO法人向けのインターネットの無料広告サービスを活用したもので、「性的虐待」「レイプされた」など被害者が性暴力関連の用語を検索サイトGoogleで調べると支援機関の情報を載せたページのURL

が広告として表示される。内閣府の調査によると、性暴力に遭った人で、誰にも相談しなかった人は7割に上る。ネットで支援情報を得ようと、関連する言葉で検索しても結果はアダルトサイトばかりなのが現状だ。今回始まった事業では、広告からサイトにアクセスすると、まず「性暴力に遭ったあなたに伝えたいこと」として「あなたは悪くない」というメッセージが表示され、相談先の東京ウイメンズプラザの情報などが続く。スマートフォンの場合はサイトから電話をかけることもできる。

相談は無料。年末年始を除いて毎日午前9時から午後9時まで女性の相談員が対応する。都内に在住・在勤などの人が対象で、男性も相談できる。事業を始めた性暴力ゼロに向けて活動するNPO法人「しあわせなみだ」の代表で社会福祉士の中野安美さんは、事業の発表イベントを6月10日に開いた。その中で中野さんは、「性暴力は全国各地で起きている。どこにでも必要な仕組みだと指摘した。サイレント・ティアーは、自殺対策の活動をするNPO法人のVAが実施していた仕組みを応用したもの。



イベントで話す中野さん